



30年後、何してる?

2050年の丹波を描く「丹波新地域ビジョン」を策定

地域の将来像を示す「丹波地域ビジョン」が新しく生まれ変わります。新ビジョンには、今から30年後の2050年に「こうあってほしい」という理想が詰まっています。一つ一つかなえて、より良い丹波をみんなでつくしましょう。

30年後、丹波地域はここまで進む!

丹波地域の今とこれからに関するアンケート結果(令和3年10月)によると、例えば「2050年、人型ロボットや自由に移動できる空飛ぶクルマはあるか?」との問いに対して、「そう思う」と回答した意見は3~4割程度にとどまりました。しかし、遠い未来の技術と思われるこれらのことが、実は2030年代には実用化されると見込まれています(第11回科学技術予測調査(文科省、元年))。丹波ならではの人の営み、自然や風景は大切にしながらも、新しい暮らしが実現される可能性があります。

空飛ぶクルマ

市内ショッピングセンターから自宅まで空飛ぶクルマで帰宅。



2030年

ドローンによる食材・日用雑貨の自動宅配サービスが普及

2033年

空飛ぶ自動車が都市部でも人を運べるようになる

人型ロボット

家事をしながら子どもに勉強を教えるロボットが実現。その横でお母さんは陶芸に没頭。



2031年

当人の代わりに買い物をしたり他の人と出会ったりすることを実現する、等身大のパーソナルロボットが開発され普及する

パワースーツ

森では、パワースーツを着た100歳の男性が木材を搬出。



2030年

高齢者や軽度障害者の運動機能を支援するロボット機器が導入される

次代を担う若者による「たんばユースチーム(仮称)」を結成します

「たんばユースチーム」は丹波地域の将来に向けた提案をはじめ、アイデアの提供、情報発信、ネットワークづくりを行います。

丹波在住者だけでなく、在勤者や丹波で活動する人、丹波出身者も参加いただけます。

令和4年春に結成予定です。



☎丹波県民局総務防災課(ビジョン担当) ☎0795(73)3724 ☎0795(72)3077

インフォメーション

イベント等は延期・中止の場合があります

兵庫陶芸美術館 著名作家招聘事業 ×テーマ展「八代 清水六兵衛展」

土の板を結合させ、焼成によるゆがみを意図的に取り入れることで独自の造形世界を作り上げる八代 清水六兵衛さん。1990年代の大型作品から最新作までを展示します ☎2月27日☎までの10時~18時前 兵庫陶芸美術館 ☎一般600円、大学生500円、高校生以下無料 ※同時開催の特別展「やきもの模様」の料金に含まれます ☎同館 ☎079(597)3961 ☎079(597)3967

丹波OB大学・大学院 受講生募集

令和4年度の受講生を募集します ①大学講座(4年制、特別講座、教養講座、専門講座、オープン学習、学外研修、運動会等) ②大学院講座(2年制、地域活動実践講座、特別講座、教養講座、学外研修等) ☎おおむね60歳以上の丹波篠山市・丹波市在住者 ☎4年4月~5年3月(年間18日) ☎丹波の森公苑 ☎160人(先着) ☎30人(先着) ☎年間1万2,500円 ☎3月13日☎までに所定の申込書を郵送、ファクス、Eメールで同苑文化振興部へ ☎0795(72)5170 ☎0795(72)5164 ☎ob-dai@tanba-mori.or.jp

間もなく完成

丹波新地域ビジョンは、2050年の「なりたい姿」を具体的に提示するものです。地域団体代表や学識経験者らによる「丹波新地域ビジョン検討委員会」での検討を基に原案を作成。1月に実施したパブリック・コメント(県民意見提出手続き)の意見を反映させ、全県ビジョンと併せて3月に策定・公表する予定です。



「丹波の森」を「共創空間」に

新地域ビジョンでは、私たちを取り巻くすべての環境=「丹波の森」を大切に育き、ここに暮らす人が共に学び、共に成長し、自然の中での多彩な暮らしのカタチを創る「共創空間」にしていくことを目指しています。